



『十年偉大なり、二十年畏るべし、三十年歴史なる』

3月は、卒業式、修了式と別れの式典が各地で挙行されました。ありがたいことに今年のお別れの式は、晴天の中で行われたのが多かったようです。幼稚園、小学校、中学校の親御さんは、子供さん方以上に進級に向けて胸いっぱいに歓びを抱いて臨まれたことでしょう。ふる里でも大村市の各学校の卒業式の日に合わせて利用者の皆さま方と「仰げば尊し」を歌いました。歌われながらどなたも目を閉じて歌わっていた事、歌い終わった時の赤みがさした顔が印象的でした。「思えばいと少し…」とても早く過ぎてしまった青春時代を回想されたのでしょう。佳き時代として思い描かれたに違いありません。皆さん素敵なお顔でした。

表題の言葉は、家内の姉のお義父さんが孫宛に「こんな言葉があるよ…」と手紙にしたためて下さったそうです。お孫さんは、大学卒業して仕事に就き若さと旺盛な研究心で頑張っていました。期待されて業務をこなしていましたが、ある時、仕事に対してちょっとばかり考え悩んでいたそうです。社会の中で自立した生活をしながらの職業、ふつと、ある時に隙間風が吹いてきたのでしょうか。辛さ、寂しさ、厳しさ…一度にドドドッとやってきたのでしょうかね。おじいさんがお孫さんにこれから生きていく上で何度も来るであろう現実の厳しさに、正面から向き合って考え方行動して欲しいと思われ送られたのでしょう。

日本でも「石の上にも三年」とありますが、表題の言葉、「十年、偉大なり(十年間心を込めて続けると、どんな小さなことでもそれは偉大な力になる)。二十年、おそるべし(二十年間やる続けると、恐るべき力になる)。三十年にして、歴史になる(一つの歴史といえる力になる)」という中国に伝わる教えです。

おじいちゃんから見たお孫さんは、すごく頑張り屋のお孫さんだったのでした。将来結婚し家庭を持った時、今ぶつかっている壁に対し、どんな小さな努力でも、やらずに十年経つのと、心をこめてやったのでは、十年間という差は大きな力になる。このような志で「今は、努力だよ!」と教えてあげたかったのです。お孫さんは、仕事をやり遂げて、3年前家庭を持たれました。今は、専業主婦ですが、おじいちゃんからのあの時頂いた手紙は、座右の銘として、夫婦生活、子育て、家づくりの中心になっていると思います。二人の子供さんは2歳の男の子と先日初節句をされた生まれたばかりの女の子です。とっても愛らしくて可愛いらしいですよ。

ふる里に来られる利用者の皆さんは若い方に会うととても優しい目をされます。いつも護って下さっているような感じの存在です。3月に巣立った学生さん、進級や社会人になって人生の壁に突き当たるでしょう。今回の言葉を意識して、新たな人生に喜んで向かって進んでいって欲しいものです。

From センター長 森 隆敏

3月行事「ジュウジュウ!ヤキヤキ料理講習会!

今回の行事は、『ジュウジュウ!ヤキヤキ料理講習会!!』と銘打ち、8日(火)~10日(木)までの三日間、全国消費量ベスト3の餃子作りを行いました。各ご当地の有名な餃子を手作りし、その出来上がる工程を楽しみました。

初日は、栃木県の『宇都宮餃子』…白菜を主な材料とした餃子。二日目は、静岡県の『浜松餃子』…キャベツを主な材料とした餃子。最終日は、北九州市の『八幡餃子』…豚骨スープで蒸しあげた餃子。どの餃子も各地を代表するものでとてもおいしく作り上りました。



餃子ができたら、もちろん試食。一緒に作ったスープとともにアツアツの餃子を美味しい頂きました。利用者の皆さんも「家で食べる餃子とは一味違うなあ♪」と喜んでおかわりしながらパクパク笑顔で食べておられました。心のこもった手作り餃子の献立!





～笑顔が溢れる行事となりました～

今回の餃子つくりを指導してくれたのは『餃子をモチーフにした格好』のお二人。わざわざ栃木県の宇都宮市や静岡県の浜松市、さらには北九州市に八幡から来て頂きました(?)。

From 行事担当

栗山 晃子・小田 麗子

～東日本大震災後の義援金募金へのご報告とお礼～

東日本大震災から早5年が経過しましたが、ふる里では震災当初から「東日本大震災復興義援募金」を続けています。義援金の募金箱はふる里の玄関ホールに設置しており、訪問客の皆様方にも協力して頂きました。

3月11日(金)の震災の日に合わせ大村市に“デイサービスセンターふる里 役員・職員・利用者一同”的名前で 17,901 円 の義援金を送らせて頂きました。ご協力ありがとうございました。引き続き、募金は続けていきたいと考えていますのでさらなるご協力を併せてお願ひいたします。

訪問ボランティア!!

～長岡様による三味線演奏～

○3月16日(水) ふる里にて…

ふる里ではお馴染みとなっていました「長岡様による三味線演奏」。津軽三味線の何とも言えない昔から聞き覚えのある音色にあわせ、『炭坑節』や『春が来た』など皆さんがご存知の曲の演奏披露がありました。

その懐かしいような、心地よい音や迫力ある演奏技術に耳だけでなく、目をも奪われ、聞き入っておられる利用者の様子がとても印象深かったです。1曲演奏が終わるたびに割れんばかりの拍手が会場に鳴り響いていました。

真剣な表情で演奏を楽しむ利用者様の様子



居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援などを行い、ケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。

24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



4月の行事予定

◆ふる里4月行事 『 ふる里 お花見見学♪ 』

4月 5日(火)・6日(水)・7日(木)

◆生花教室～山崎弘子先生～ 8日(金)・20日(水)

◆書道教室～古瀬恭孝先生～ 4日(月)・28日(木)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江・津田先生他～18日(月) ※1

◆押し花教室～中村寿美子先生～26日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～…毎週火・木・金曜

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後

13・20・27日実施予定

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

※2 おしゃれサロンは、先生のご都合によりしばらくお休みいたします。

今月の作品



書道教室

おし花教室



生け花教室

ふる里の桜と蝶



さて、4月に入り、桜の花も一気に開き、本格的な春を感じるようになってきました。ふる里の周りでもその他のたくさんのお花も咲き始めてきました。

ふる里の桜もきれいな花を咲かせ、そこに一匹の蝶がとまっている瞬間を目にすることができます。新年度に入り、「新たな気持ち」で皆様と関わっていけるよう努力していきたいと思います。

編集後記 三岳 健吾